

令和7年度 第8回 能登半島地震復興支援セミナー

能登半島地震の被災文化財の 三次元計測について

日 時：令和7年11月29日 土 13:30～14:30

講 師：金沢大学古代文明・文化資源学研究所 教授 同大学資料館長

足立 拓朗 (あだち たくろう) 氏

無料

金沢大学資料館は文化庁の支援を受けて、昨年7月から本年9月まで被災文化財の三次元計測を実施してきました。対象は寺社、古民家、仏塔、仏像、庭園、墓地など多岐にわたっています。資料館の website には昨年度のデータから14件を公開しています。本講演では、9月に計測が終了したばかりのデータをご覧いただきます。地震の被害により多くの文化財が復旧できない状態になっています。しかし、三次元計測で記録することにより、今後の能登半島の復興に活用できる可能性があります。大学資料館では今後も三次元計測の活動を継続していく予定です。



【講師紹介】

金沢大学資料館長、同大学古代文明・文化資源学研究所 副所長、人文学類教授。博士(文学)。青山学院大学卒。鳥取県出身。

事前申し込みが必要です。申込フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

参加形式：オンライン・オンデマンド(11/29～2026/11/28)



申込：<https://ws.formzu.net/dist/S44022055/>

対象者：どなたでも

申込期限：令和7年11月26日(水)



★「能登分室」にてライブ配信と、大学への支援要望相談会をしますので、ぜひお越しください！

場所：能登空港(のと里山空港) ターミナルビル4F
輪島市三井町洲衛10丁目 11-1

対象者：どなたでも

定員：30名



<能登分室>

